

ち づ 智頭 議会 だより

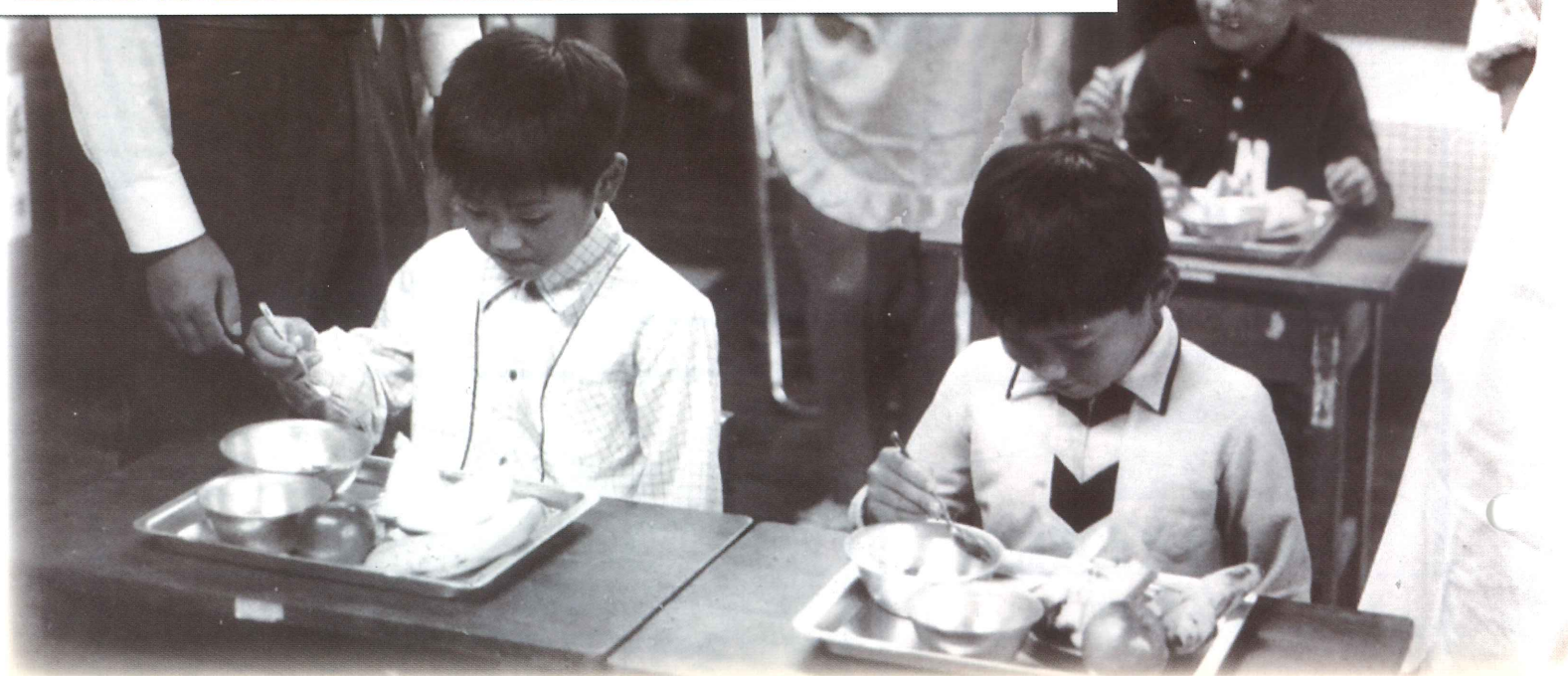


町の花
どうだんつつじ

鳥取県智頭町議会
第152号
発行：令和2年10月21日

現在

昭和
45年



智頭の思い出シリーズ4 1

板井原分校完全給食開始 [昭和45年]

現在、国登録文化財に指定されている板井原分校では、昭和45年に完全給食が開始されました。

今では、智頭小学校にて、生産者を囲んで交流しながら美味しい給食を食べる日もあります。

また、9月定例会において、小中学校の給食費無償化に向けた予算が可決されました。(関連4ページ)

9月定例会

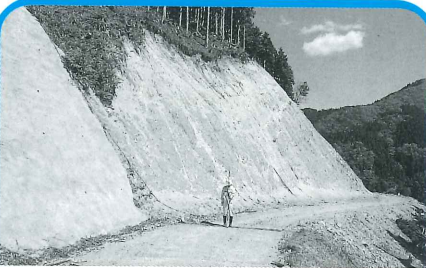
- ☆ 令和元年度の決算を認定 ...P2~3
- ☆ 新型コロナ関連増額 ...P4~5
- ☆ 報酬条例・委員会条例改正(議員発議) ...P6~7
- ☆ 7人の議員が一般質問に登壇 ...P8~12
- ☆ 各常任委員会の報告 ...P13~15
- ☆ 町民の声(智頭地区) ...P16

令和元年度 決算

昨年とはどんな事業をしたかったがいな

2年前の7月豪雨による災害復旧は着々と進んでいるものの、未だに継続している事業も多く、災害復旧関係の繰越しが多く見られました。

令和元年度の主な事業と質疑



林道 宇波・竹ノ下線工事 3,300万円(概算)

議員 進捗を問う。

課長 平成30年7月豪雨などで、かなりの遅れが生じている。今年度中に最終工事を発注し、早期完成を目ざしたい。



智頭杉で作られたストロー

関係人口拡大事業委託料 75万円

議員 令和元年度の成果を問う。

課長 (一社)神田駅周辺エリアマネジメント協会とのつながりで、木のストローを製造する会社を誘致できた。



智頭杉のチップ入り枕

智頭材商品化委託料 145万円

内容：智頭杉のチップを使用した枕を大手寝具メーカー(東京ベッド)と共同開発中。

議員 成果品と販売先を問う。

課長 試作品はできたが、新型コロナウイルスの影響で、販売に向けた検討に至らなかった。

議員 成果品がないのに、委託料を支払うのは納得できない。契約内容を問う。

課長 契約内容は商品開発である。



新図書館から
かわらまち
河原町・智頭宿
をつなぐ事業

ちづみちエリアリノベーション事業 975万円

内容：新図書館^{かわらまち}・河原町・智頭宿との導線を作り、にぎわいを創るための計画づくりを行った。

議員 具体的な成果が感じられない。どんなことを計画し、実行してきたのか。また、予算の使われ方を問う。

課長 本事業は地方創生交付金を活用した事業であり、これまでに関係者と7回ワークショップを行い、戦略ブックを作成。今後は、この戦略ガイドに基づき事業を行っていく。

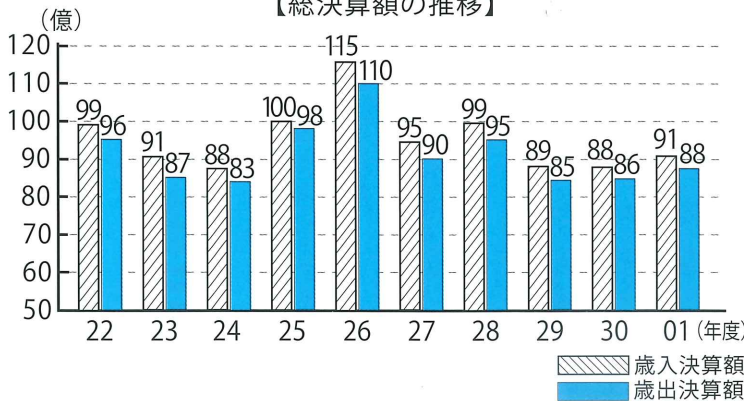
持続可能な財政運営を

第3回定例会が9月9日から18日までの会期で行われました。令和元年度決算については、特別委員会を設置、監査委員の審査意見書を参考に慎重に審査した結果、上程された12議案すべてを認定しました。このほか、令和2年度補正予算や条例改正など20議案を原案どおり可決・同意しました。

決算 収支

令和元年度 普通会計と特別会計を合わせた歳入決算合計は、91億5,232万円で、歳出決算合計は88億1,222万円となりました。

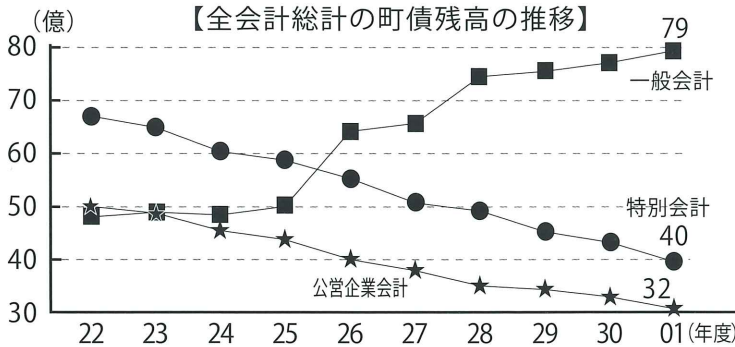
【総決算額の推移】



町債 (借金)

町債とは、町の借金のことです。一般会計、特別会計の合計に水道及び病院事業会計を含めた全会計の町債残高は、令和元年度末で149億9,757万円となり、前年度に比べ、1.9%減少しています。

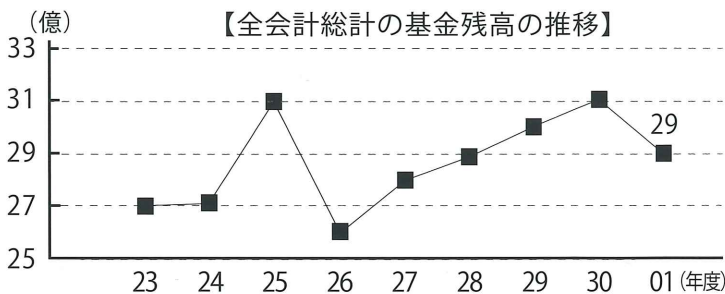
【全会計総計の町債残高の推移】



基金 (貯金)

基金とは、町の貯金のことです。一般会計、特別会計、財政調査基金を合計した基金残高は、令和元年5月末で29億4,900万円となり、前年度に比べ、5.2%減少しています。

【全会計総計の基金残高の推移】



※上記3つのグラフは令和元年度監査意見書より抜粋
(グラフの数字は四捨五入しています)



横瀬の森林
セラピーロード

新規 セラピーロード 活用促進補助金

160万円 → 0円

内容：新規セラピーロード(横瀬・天木)のグランドオープンを行うにあたり、山郷と土師地区振興協議会に、町民や近隣住民が参加しやすいイベントなどを開催したり、企業研修を受け入れるための補助を行う。

議員 オープンイベントは中止された。予算執行状況を問う。

課長 災害復旧工事の影響により、予算執行なし。

森林セラピー受入状況

期間：平成31年4月～令和2年3月
組数：63組
参加人数：556人

児童館費 2,537万円

内容：年間を通じた
1日平均利用人数は、
久志谷児童館：14人
本折児童館：8人である。

議員 利用人数が減少している。各児童館に正職・臨時職員を1人ずつ配置している。統合を考えるべきでは。

課長 利用者が少ないから1つにすればいいという乱暴なことは考えていない。施設も老朽化しているため、建て替えと共に検討する。

新型コロナウイルス対策関連の支援

増

地域経済と生活の安心を下支え

新型コロナウイルス関連の支援事業として、地域経済活性化や感染予防関連など、国からの支援を的確にとらえた補正予算案が多数提案されました。

9月補正の主な内容と質疑

新たな機能の具体例

★公共交通を予約するシステム

地域公共交通計画ができた後の構想ではあるが、利用者が告知端末で公共交通を予約できるようにすることを検討中。(この事業は、当初予算に計上済み)

★買い物代行

告知端末画面に商品が掲載され、画面にタッチするなど操作をすることにより、買い物の商品が確定され、商品が家まで届くことなどを検討する。

★認知症予防クイズ配信

認知症予防クイズなど、楽しみながら脳の活性化をはかることを検討する。



議員

現状の更新費用と、財源は。

新しいアプリを入れず、現状のまま更新した場合の費用はいくらか。またその場合、有利な財源はないのか。

企画課長

約5億かかる。有利な財源はない。

新たな取り組みをする場合、有利な補助が受けられ、更新における町の経費を軽減することができる。



今お使いの告知端末の機種も新しくなります。

次世代IP告知端末 アプリ開発委託料 8,000万円 増額

各世帯で使われているIP告知端末の使用が10年経過し、更新の時期となった。**新たな機能**を充実させることで、財源的に有益な補助を受けられるため、アプリ開発を行う。

財源

国：6000万円
町：2000万円

給食費完全無償化

約1,200万円 増額

新型コロナウイルス関連の交付金により、小・中学校の給食費を完全無償化することとなった。それに伴い、今年4月までさかのぼり、対象者に返金する。

財源

国：1200万円

複数人並んでも
即座に検温できます。

サーモグラフィ カメラなどを設置

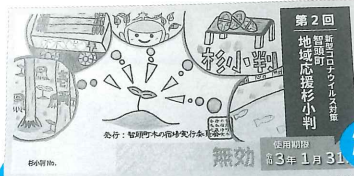
約**300万円**増額

中学校と智頭病院出入口
付近にサーモグラフィカメ
ラを設置し、検温時間の
短縮と職員の業務の負担
の軽減につなげる。



智頭病院内のサーモグラフィカメラ

財源 すべて国：**300万円**



第2弾

地域通貨「杉小判」発行

3,729万円増額

智頭町内の商店のみで使える地域
通貨『杉小判』を町民1人
5,000円分発行し、地域経済の
活性化につなげる。

財源 国：**3,500万円**

町：**229万円**

購入後、貸付けは有償が無償か。
議員
山村再生課長
芦津区会と協議する。
原木しいたけを栽培している芦津
区会と協議し、貸付けの形態を検
討する。

面積：7,126平米

芦津貯木場跡地の 用地購入

約**724万円**増額

原木しいたけ栽培用地として、
芦津貯木場跡地を国から購入。



財源 すべて町：**724万円**

条例改正 他

図書館の名称を改正

内容・新図書館の開館に伴い、名称と所在地を
改正した。
名称・ちえの森ちづ図書館 所在地・智頭2090番地1

富沢地区公民館の所在地等を改正

内容・富沢コミュニティ
センター建設に伴い、同
センターに富沢地区公民
館を移設するため改正し
た。



旧富沢小学校跡地に
建設された富沢コ
ミュニティセンター

新たな基金を設立

内容・新型コロナにより、深刻な影響を受ける
町内事業者の経営維持と安定を図るため、基金
を設置した。

智頭町固定資産評価委員会委員の選任に同意

内容・現委員 大坪正人 氏が任期満了する
ことから、引き続き同氏の選任に同意した。

智頭町教育委員会委員の任命に同意

内容・現委員 酒本弘道 氏の辞職に伴い、
新たに 安住順一 氏の任命に同意した。

人事案件

智頭町教育委員会委員の任命に同意

内容・現委員 平井早苗 氏の任期満了に伴
い、新たに 河村郁子 氏の任命に同意した。

議員報酬の増額を可決

来年7月改選後の議員から適用

平成29年の智頭町議会議員一般選挙は、本町で初めて無投票になりました。これを踏まえ、平成30年12月定例会で『議会改革に関する調査特別委員会』を設置し、調査・研究を進めてきました。その結果、議員のなり手不足解消を目的とした、議員発議による議員報酬を引き上げる条例改正案を採決した結果、賛成多数で可決しました。

(施行日 令和3年7月30日)

【条例改正に至った経緯】

特別委員会では、議員全員による委員会を22回、小委員会を17回、計39回開催しました。その他にも先進地視察、研修会への参加、学識経験者との懇談会も行い、議会活動の活性化や改善を積極的に取り組んできました。

議員報酬や定数に関しても、議員から何度も意見を聞いてきた中で、**報酬は増**



平成29年の選挙は智頭町初無投票でした

額と据え置きが拮抗、定数も削減と現状維持が拮抗したことから、「一度立ち止まって、議員ではない第三者による公平な意見を聴こうではないか」という意見もあつたことから、町長に対して、本町の条例で制定されている公式の審議会の設置を要請しました。

令和元年10月に『特別職の報酬等に関する審議会』が設置され、計5回の審議が行われた結果、令和2年2月、**報酬は増額、定数は現状維持という答申**が示されました。

これをもとに智頭町議会としての意見集約を行った結果、今後行われる選挙での無投票の防止、若い方や働き盛りの人、女性などが立候補しやすい方策の一助になることを期待し『議会改革に関する調査特別委員会』として、議員報酬の増額という結論に達し、令和2年3月定例会において、最終報告としました。

議員報酬の額

区分	改正	現行
議長	350,000	330,000
副議長	297,000	246,000
常任委員長	288,000	237,000
議員	280,000	229,000

(単位：円/月額)

第三者による審議会設置
答申結果



『議会改革に関する調査特別委員会』の中間報告は議会だより149号、最終報告は150号に掲載

特別委員会の最終報告以降、新型コロナウイルスが全国的に拡大し、地域経済に深刻な影響を及ぼしています。現時点で収束の目途も立っていないため、議員報酬の増額に対し、一部の議員から否定的な意見もありました。しかし、現議員の任期も残り1年を切り、将来の智頭町の発展のためにも、若年の勤労世代など、多様な人材が立候補を検討され、広範な民意が反映される議会となるようにと提案し、このたび報酬条例の一部が改正されました。



多様な人材の立候補者

【さらなる議会改革を進めます】

増額は来年7月の改選後からとなりますが、それに見合う議員活動がなされているのか、その資質を問われ評価されるのは現議員も同じであると考えます。それぞれが自身をふり返り、襟を正すところは正し、より一層の自己研鑽に努めることを議員間で確認しました。

【町民の意見をより多く聴き市政に反映】

議会広報常任委員会を

「議会広報公聴常任委員会」へ
条例改正 (全議員所属)

町民の皆様が議会の活動を分かりやすく伝えることが重要と考え、議員報酬の増額と併せて議員発議による委員会条例の改正案を提案し、可決されました。

(施行日 令和3年7月30日)

議会改革の議論を進めてきた中で、議会活動を積極的に発信し、町民の意見をより多く聴く機会を設けることが必要であるとの結論に至りました。

これまで『議会広報常任委員会』の定数は5人でしたが、広聴に関する事項のさらなる充実・強化を図るため、議員全員12人が『議会広報公聴常任委員会』に所属することになりました。



【お知らせとお詫び】

例年5月に開催している『議会報告会』を、今年度は新型コロナウイルスの影響により延期していました。しかし、9月定例会にて、議員報酬を増額する条例の可決に伴ない、一早く町民の皆様にご説明を行うべく、急ぎで議会報告会を10月上旬に開催しました。毎年「議会だより」で開催日時の案内をしてきましたが、この度は、事前にお知らせできず、申し訳ありませんでした。なお、議会報告会をご希望の方は、随時受け付けます。

お問い合わせ：智頭町議会事務局(☎75-3115)



陳情の審査結果

	件名(要約)	提出者(要約)	審査結果
①	那岐地内国道連結道、県道交差点(交通対策)	那岐財産区 議長 谷口陽一郎 他1団体	採 択
②	歩道の設置		採 択
③	核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准 (意見書提出)	原水爆禁止鳥取県協議会 理事長 山上英明	趣旨採択
④	国の責任による「20人学級」を展望した少 人数学級の前進(意見書提出)	新日本婦人の会 鳥取県本部 会長 山内淳子	趣旨採択

【趣旨採択の理由】

③④の願意は理解できますが、国家的な高度な政治判断が求められる内容であったため、趣旨採択としました。



陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください
詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL: 75-3115 gikai@town.chizu.tottori.jp

陳情 受付

次回の定例会は12月8日から開催する予定です

陳情箇所は、
所管の委員会が現地
を見て、陳情者から
説明を聞き、判断
しています。



陳情①の現場視察

あの陳情、その後どうなった？

町道極楽寺線の舗装修繕

下水道管布設区間が広範囲にわたり
沈下していたため、修繕工事を行い
6月1日に完成。

3月
採択

前



常任委員会の現地確認

後



修繕後の状況

中島地区内の水害防止(用水路改良)

千代川からの越流防止対策として、県へ護岸の
かさ上げを要望するが、実施しないとの回答。
これを受けて、暗渠開口部の改良を国に要望中。

7月
採択



中島地区内の現場

町政の課題を執行部に問う

7人の議員が一般質問に臨みました

一般質問とは、議員が町政全般について、疑問に思うことを、町長や教育長などに問い質すことです。

議員名 / 質問内容	議員名 / 質問内容
河村仁志 1. 重点施策について所信を問う 	安道泰治 1. 農林業振興について 2. 携帯電話基地局の増設について 
酒本敏興 1. 地域が輝く観光の実現に向けて 	中野ゆかり 1. 板井原集落の維持と活用について 2. 消滅集落の可能性と対策について 
谷口雅人 1. 太陽光発電・蓄電設備に関する補助制度の創設について 2. 防災委員の設置について 	谷口翔馬 1. 若者定住促進対策について 2. 観光振興について 3. ふるさと納税について 
岸本眞一郎 1. 農地の適正な管理について 2. 新図書館の運営について 	一般質問の録画をインターネットで見ることができます  <input type="text" value="検索"/>  

一般質問



河村 仁志

選挙公約

重要施策について所信を問う
 町長／子育て支援が定住促進につながる

問 少子化により人口も自然的な減少傾向にある中で、町長は若者定住の推進を公約に挙げられている。今後の取り組みは。

実、コミュニティスクールの導入、教育の基盤となる家庭教育の強化の4点を軸に進める。



答 町長 独自の奨学制度の創設で、進学後智頭に帰ってもらえる施策のほか、定住促進住宅の建設、学校給食完全無償化、子育て教育環境の向上などが、定住促進の一環と考える。

問 教育の充実に関連して、義務教育指針に適応していない新田サドベリースクール対策は、どのように進めていくのか。

答 教育長 引き続き保護者には就学履行を求め、児童生徒の実態把握に基づいた具体的な学習や生活の相談、指導、支援を実施し、状況を学校と共有して学校復帰を見据えた活動を促す。

答 町長 一人一端末導入後のGIGAスクール構想、ふるさとキャリア教育の充



酒本 敏興

観光振興

地域が輝く観光の実現に向けて
町長／魅力あるまちづくりを進める

問 石谷家住宅の経営努力も必須、経営方針の再検討が急務と考えるがどうか。

答 町長 まちづくりを進めることが、智頭町の魅力向上に繋がりが、観光面でもその効果を発揮するものと考えてる。

答 町長 行政と観光協会が連携、SNSやインターネットなどを介して実践している。民間団体や地域との連携も認識している。



智頭町観光の核、石谷家住宅

問 ボランティアガイドや、町内会のまちづくり協議会などとの合意形成は充分か。

答 町長 民間や地域の方々を含めて、協議をしていきたい。



谷口 雅人

蓄電池

脱炭素社会の実現に向けて
町長／補助制度も検討したい

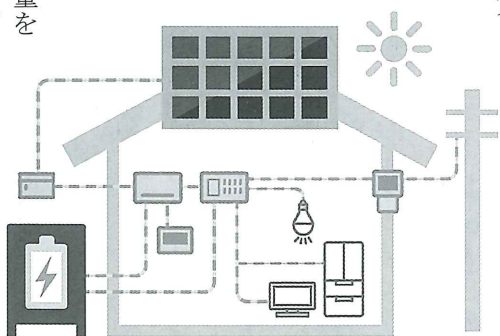
問 脱炭素の再生可能エネルギーの普及に力をいれてきた。ここへきて民間による小電力発電として導入された太陽光発電が、頓挫している。原因として売電価格の下落がある。対策として、売電価格に影響されにくい発電システムを普及することは、脱炭素社会の実現に貢献することのみならず、多角的、副次的な効果をあらわすと考える。

答 町長 本町においても脱炭素社会の実現や、地球温暖化防止などに向けた取り組みの一環として、この補助制度の創設に対しても検討していきたい。

その他、防災委員設置について質問した。

問 地区、集落により災害の状況は異なる。専門性を持つ防災委員制度は有効と考えるがどうか。

答 町長 防災士の資格を取得された方を中心に、盛り上げていただければと思う。



蓄電池による太陽光発電の魅力向上

※温室効果ガスである二酸化炭素の排出量を可能な限り減らし、地球環境を守る社会。



岸本 眞一郎

農地管理

農業公社的な組織が必要では

町長／組織ありきではなく結果として

問 農業の担い手の平均年齢は72歳を超えており、団塊の世代が農地を守っている現状だ。担い手及び集落営農などの現状は。

答 町長 担い手の現状は認定農業者6人、中心経営体108団体、集落営農4集落である。

3年前の農家全戸アンケートでは、後継者のめどが7割立っておらず、規模拡大を目ざす人が極めて少ない厳しい結果だった。

問 担い手が少ない大きな要因は、採算性が低いからだ。生産性を上げ収益を増やすスマート農業などの導入も必要で、それには資本力のある農業公社的な組織が

必要になると思うがどうか。

答 町長 組織ありきではなく、スマート農業などを進めていく上で、どのような体制や仕組みが必要なのか、JAや県と連携しながら農地の保全も考え、結果としてそういう組織ができればと思う。

その他、新図書館について質問した。



集落営農による除草剤散布



安道 泰治

林道災害

林道・作業道の復旧は

町長／平年ベースよりも多めな予算

問 林道災害の復旧については、今年中に完了するということだが、災害適応外林道や林業災害にあがっていない場所など、いま一度見直していく考えはないか。

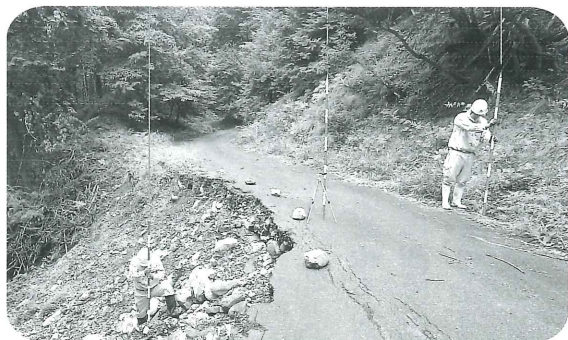
答 町長 まだ手つかずといった路線が存在するのも理解している。31年度以降は、平年ベースよりも多めに、予算をつけている。

問 町管理道と森林組合管理道を、町が一本化して管理してはどうか。

答 町長 管理道の件は、逆に言えば、町がしなくても森林組合が全部管理してもいいと考える。どういう管理の仕方がいいのかとい

う観点から協議を始めていきたい。

その他、林業への支援策・大型機械免許取得費用の助成、携帯電話基地局の増設について質問した。



被災した林道



中野 ゆかり

集落維持

板井原集落の維持と活用は
町長／関係者の思いに向き合い前向きに考える

問 板井原集落（県指定伝統的建造物群保存地区）は、

関係者が田畑を耕したり、草刈りや家の修繕などをされているため、集落の景観が保たれている。しかし、関係者も高齢となり、水道掃除や草刈りなどの総ごと、花籠祭もしなくなったと聞く。今後ではなく、今、すでに集落の維持が難しい状態になっている。板井原集落の維持について問う。

答 町長 保存協議会や関係者の方々は、どのように保存したいのか、意見や提案を伺いながら、その思いに真摯に向き合いたい。

問 昨今のコロナ禍において、人々の生き方が見直さ



今年5月にオープンした軽食喫茶『和桂』。1ヶ月約500人が来店するほどの人気店。

れている。板井原は、益々価値が高まっていくと感じる。そこで、22年前に作られた板井原を活性化する計画を再度練り直し、新たな進展を模索してはどうか。

答 町長 実現可能ならば、町として大いに後押ししていきたい。



谷口 翔馬

ふるさと納税

ふるさと納税の強化は
町長／全国に向けて発信する

問 今後、人口減少などに伴う町税や地方交付税の減少、公債費の増加及び公共施設の大規模改修を含む投資的経費の増加が見込まれるなど、厳しい財政状況が予測される。

効率的・効果的な事業執行と、財源確保に向けた取り組みがより一層求められてくる中、自主財源確保の取り組みの1つとして、ふるさと納税の強化が挙げられる。

現在、コロナ禍でふるさと納税の需要も高まっている。智頭町もふるさと納税を行っているが、宣伝に力を入れておらず、やっているだけになっていないか、町長の考えを問う。

答 町長 7月の議会でも、智頭町の魅力発信事業に関する予算の議決をいただいた。

ホームページやSNSを活用して全国に向け発信することや、返礼品のことも考えて豊富にするとうようなことで、智頭町に関心をもっていただき、また、本町の魅力を体験してもらう、そういったことに力を入れていきたい。



智頭町の返礼品の一部

8月
31日

智頭町観光協会・因幡
街道ふるさと振興財団
との意見交換会

■意見・要望など

A 智頭町観光協会

新型コロナウイルスの影響は2月ごろから始め、関西、名古屋などでの商談会や、今年度予定していた11月ごろまでのイベントが中止になっていると聞いた。今後は、旅行業など収益事業を積極的に展開することで、職員1名分の人件費を確保したいとのことだった。

B いなば街道ふるさと振興財団(石谷家住宅)

緊急事態宣言の発令に伴う休業要請により、約2ヶ月間の臨時休館を行ったことから、入館料、喫茶・物販収入がほぼ得られず経営を直撃。このままでは運転資金が不足し、12月には人件費の支払いが滞る可能性があるとのことだった。要望として、休館したことに対する公的資金援助と、旧マルテ跡地の駐車スペースとしての確保などを聞いた。

■感想

新型コロナウイルスによる影響や今後の展開、要望などを聞く機会として初めて意見交

換を行ったが、(A)(B)両団体の財政基盤の違いが経営に対する考え方、姿勢に大きく表れていることに驚いた。

石谷家住宅は本町の宝、観光の目玉であり、存続が危ぶまれることがあってはならない。ピンチをチャンスに変える機会でもあり、町としてしっかり支援していく必要性を強く感じた。



石谷家住宅

7月
17日

委員会

商工会との意見交換会で挙げられた意見や要望などをもとに、担当課と意見交換を行いました。

8月
18日

例月委員会

所管各課の事業進捗状況報告のほか、9月定例会会程予定議案などの説明を受けました。

主な報告

- ・新型コロナウイルス対策中小企業支援第2弾、対象約170社。
- ・新図書館の工期を11月中旬まで延長。

主な質疑

Q 職員が新型コロナウイルスに感染した場合の対応は。

判明した時点でフロアを閉鎖し、早い段階で除染作業を行った後、開庁する。また、感染防止対策に対応した職員の分散配置を試行する。
(9月7日より実施)

Q 火葬場解体後の跡地利用計画は。

A 災害時の残土置き場にする予定。

8月
24日

意見交換会の事前学習

担当課が把握する現状や課題、考えなどについて説明を受けました。

企画課

令和元年度の観光協会補助金2200万円のうち、人件費が7割を占める。

教育委員会

石谷家住宅は年間2万4千人の入館がないと経営が難しい。令和元年度は1万9千人、今年度は7月末で1144人。

9月
15日

定例会中の委員会

議案の所管部分の質疑のほか、所管各課から事業の進捗状況などについて説明を受けました。

その他、行政評価対象事業の執行部評価について、聞き取りを行いました。

(←15ページ下段、関連記事)

7月13日

定例会中の委員会

議案の所管部分の質疑のほか、所管各課から事業の進捗状況などについて説明を受けました。

主な質疑

Q 生活保護総務費、時間外手当増額の要因と、対象職員数は。

A 職員数は、管理職を含め6名。コロナ関連で、相談が急増していることなどが増額の要因。

Q 心和苑のオンライン面会、仕組みは。

A カメラ付きのパソコンまたはタブレット2台を有線つなぎ、カメラ越しに面会できる仕組みを作る。

Q いのちね。産科医師誘致の進捗は。

A 医師の誘致はまだ難しいと聞いていますが、医師と連携した事業を行うという報告を受けている。

8月20日 例月委員会

所管各課の事業進捗状況報告のほか、9月定例会上程予定議案などの説明を受けました。

主な質疑

Q 7月15日開催のリモコン式草刈り機の実演会。どうだったか。

A 町民は関心を持たれていて、約50人の参加があった。3種類の機械の演習があったが、高額の機械は本当にいい作業内容だと感じた。



リモコン草刈り機の実演会

Q

『杉小判』の換金状況1/3程度。10月末の利用期間で使い切れないと想定される。周知してもらいたい。

A 告知端末で案内を行う。

その他、町内の林業施業の現状などについて、担当課と意見交換を行いました。

9月10日

智頭病院との意見交換会

新型コロナウイルスによる影響について、現状報告を受け、意見交換を行いました。

主な質疑

Q 半期が過ぎ、新型コロナウイルスの影響を心配していた。智頭病院だけでなく、智頭町全体の問題だと認識している。自治体病院を運営している他の自治体とも歩調を合わせ、国・県への要望も考えなければならぬと思うが。

9月14日

定例会中の委員会

毎月の運営会議で、月々の収支を見ながら進めている。7月に若干回復したが、減収は目に見えている。自治体病院からの要望は、県の町村会ととりまとめてもらっている。

議案の所管部分の質疑のほか、所管各課から事業の進捗状況などについて説明を受けました。

主な質疑

Q 『杉小判』第1弾発券の結果分析は。2弾の実施にあたり、分析と改善が必要だと思うが。

A 登録102店舗中、1枚でも使用されたのは56店舗。日常生活に直結した店舗で多く使われている。改善策については検討し、加盟店の登録も改めて案内する。

Q “おせっかい”取り組み内容は。

A 毎月1日をおせっかいの日とし、告知端末などで案内。小中学生に身近に感じてもらうため、おせっかいチャレンジカードの取り組みを行う。

その他、行政評価対象事業の執行部評価について、聞き取りを行いました。

(←次ページ下段、関連記事)

議会だより151号に関する
議会広報モニターからの
ご意見を紹介

全体の構成（見やすさ・記事量）は、『よい』13名、『悪い』1名、『普通』3名が回答されました。（回答者17名）

編集改善に関する意見

○ゴシック体が多用され、非常に圧迫感がある。

今号では、改善を試みました。

○陳情内容と審査結果が掲載されているが、町内の案件については、その後の経過も紹介してはどうか。

令和2年3月・7月定例会で採択した2件の『その後』を、今号8ページで紹介しています。

○表紙写真が見にくかった。バスか人間か、どちらが『主』なのかわからない。

○毎号、見やすくなってきた。すごい！

○委員会の内容が詳しく掲載されていてよい。

○想い出シリーズの写真はいいと思う。懐かしいと喜んでいる人もいる。一般に写真を募集して掲載してはどうか。

町政や議会活動全般に関する意見

○新型コロナで大打撃を受けているが、体制を整えているのはよくわかった。智頭を良いまちにするために、私自身も協力していきたい。

○コロナ禍で、町独自の「コロナ対策中小企業支援金」と「杉小判」の対策は、本当に素早い対応だったと思う。

○申し訳ないが、近年は議会だよりを自分の関心のあるところしか見ていなかった。今回、モニターになったことでじっくり読ませてもらったが、とてもわかりやすかった。

モニターの方々の
ご意見とご協力、大変
ありがとうございます。
今後も、手に取ってもらい
やすく、読んでもらいやすい、
よりよい紙面づくりに
努めます。



行政評価実施中！

前号で報告の行政評価抽出事業について、町執行部の自己評価結果が議会に提出されたことを受け、担当課から成果と課題などの聞き取りを行いました。

執行部の評価（抜粋）

● 防災費（消耗品費、備品購入費）引き続き、未整備の避難所を重点的に整備を進める。

● 商工振興費（各種補助金）今後も継続した行政の支援が必要。

● コミュニティバス運行事業 今後新たな交通体系を構築していくにあたり、バスの小型化、減便等を踏まえた検討が必要。

● ホンモノの農産物づくり推進事業 引き続き、情報共有を行い、取り組みを支援する体制を整える。

● 林業事業体等支援事業（各種補助金）本町において林業振興は不可欠。引き続き支援は必要。

● 生活保護総務費 専門員の増員を検討してもらいたい。

今後は、全議員がそれぞれ所属する常任委員会の対象事業を評価し、委員会としてとりまとめた後、町長に提出します。

▼結果は次号で報告します。



智頭町は子育てしやすい町だと実感

てらさか けんた
寺坂 健汰さん(智頭地区)

私が住んでいる町は、ほかの市町村と比べると、確かに田舎のような気がしますが、私の一番好きな町は故郷の智頭町です。

私は高校卒業後、広島県に就職し、結婚を機に地元へ帰ってきました。子どもも産まれ、子育てに不安を感じる時もありましたが、この智頭町で暮らす日々が過ぎるにつれ、その不安はすっかりなくなり、この智頭町はとってもしっかりとした子育てしやすい町だと実感しました。

それは、環境面と経済面です。環境面では、現在、子育て支援センターに通っていて、子どもたちが交流できたり、親同士も仲良くなることができます。妻は鳥取市内から智頭に来ましたが、この子育て支援センターで子育て関連で共感しあって、今では私より智頭町の友達が多いです。

経済面では、家を建てた時も智頭町の助成金などがとても手厚かったことや、「智頭町わが家で子育て応援給付金」「保育料の無償化」などで、家計も助けられました。また、子どもたちが小中学生になっても、給食費が無償化になることで、その分子どもたちの好きなことにお金をあてることのできるのです。とてもありがたいです。本当に智頭町はどこの市町村と比べても、子育てしやすい町だと思います。



そして私は、家族を持つたことや選挙活動の手伝いをしたこと、身近で町議会議員が出たことで、もっとこの地元を知ってみたいと思うようになりました。

今回から議会だよりのモニターを引き受け、読んでみると、議会で決まったことや新しい事業が発足されたことなど、詳しく今の智頭町の流れが掲載されていて、その流れを実際に見るためにも、初めて9月の本会議を傍聴しました。まだ難しく、雰囲気をつかむことしかできませんでしたが、ここで今後の智頭町の方向性を決めているのだと感じました。

子どもたちのためにも、この智頭町がもっといい町になるようによろしく願います。そして、子どもたちが大人になっても誇れる智頭町にしてください。



編集後記

9月定例会の補正予算では、新型コロナウイルスに関する対策費が多数計上されました(4〜5ページに掲載)。その中で、町内のみで使える地域通過『杉小判』の第2弾の発券が可決されました。この機会にぜひ、今まで入ったことのない店に行ってみてください。きっと魅力的な商品やおいしい食べ物、素敵な店主との出会いがあるはずです。

また、この度、議員報酬の増額が可決されました(来年7月から施行)。その経緯や現在取り組んでいる議会改革の内容など、いつでも説明に伺いますので、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。(中野)

編集 議会広報常任委員会

委員長 安道 泰治
副委員長 國本 誠一
委員 岩本富美男
委員 谷口 雅人
委員 中野ゆかり
発行責任者 議長 大河原昭洋